2017 Mar.
vol.31
college news
カレッジだより
「生涯にわたる学び」と「地域で活躍するための学び」を目指して

道民カレッジロゴマーク
愛　称「マナボー」

退職後夫婦10年のドラマ

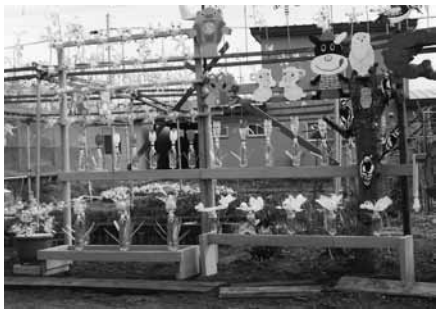
帯広市　松井　英成・絹子

「酉年」モニュメント

10年前退職、その年ある講演会で道民カレッジのパンフレットが配布されて知る事ができました。退職後の夫婦共通の趣味のきっかけになり、その後道民カレッジ連携講座を２人で受講始めました。自由に選択でき、都合つく時に受講すれば良いので何よりです。続けるには、少しの目標が必要です。道民カレッジにはそれが備わっています。先ず、５つの専門コースの博士300単位をそれぞれ取得することを目標にしました。（平成28年６月28日夫婦同時達成、９年かかる）次に学長奨励賞（1000単位毎に賞有り）に挑戦中です。2000単位は平成28年６月28日夫婦同時取得。講座の内容が色々なジャンルに及んでいるため大変おもしろく、社会の現状、知識の再認識ができてありがたく思っています。

一方、夫婦で活動していることがあります。男女共同参画ではありませんが、空ペットボトル風車を製作して菜園上に飾っています。空ペットボトルを切って風車（かざぐるま）を作り、それにカラービニールテープで色貼りして飾ります。始めてから10年になり、500個以上のペットボトル風車を飾るようになりました。板で切り抜いたキャラクター等含めて５月から９月頃まで菜園上にアート展をしています。以前、市民講座に声をかけていただきペットボトル風車を作る実践講座の講師を夫婦でやらせてもらい、40名の方々が出席し、喜んで製作して下さり、我々夫婦の方が感激したことがありました。これがきっかけで帯広市の生涯学習活動の一部、コミュニティ講座の講師に夫婦で招いていただきました。

また、帯広市のプラザ祭りでのイベントでは、ペットボトル風車作りを教える（200人から300人参加、５年続いている）等、道民カレッジがきっかけで、教わったり、教えたり新しい人生が生まれ感謝しています。プラザ祭りのイベントで感動したことがあります。片手不自由な彼が来て「私、風車が作れますか？」と聞かれ、即「作れますよ、どうぞ作って持って帰って下さい」と返答すると「本当に！」とびっくりスマイルで、やり始めました。苦労していると手助けしたくなる気持ちを抑えてアドバイス、しかしどうしても不自由な手の指が必要な時だけ手を加えましたが、倍以上の時間をかけ見事完成。回る風車の達成感を大変喜んで下さいました。私たちのハートが熱くなり、顔を見合わせアイコンタクトで「大変だけどやって良かったね」と喜び合いました。「障がい者の理解と支援」の講座が役に立ちました。道民カレッジのおかげで、私たち夫婦は今まさに、10年の新人生ドラマを歩んでいます。チャンスある度好奇心が芽生え、やる気が出る。失敗しても経験できたことに感謝すれば前進できる。成功すれば感激して前進する。明日が楽しみです。「たかがペットボトルされどペットボトルものづくりの大切さに感謝です」これからも、この人生ドラマを夫婦で歩む中で、道民カレッジ講座を続けられることを願ってペンをおきます。この機会に感謝！ありがとうございました。


自家菜園上のペットボトル風車アート展
（５月～９月）

帯広市プラザ祭り

市民大学講座

道民カレッジがリニューアルします！！！

〇主催講座

1 地域活動実践講座（新規事業）
・地域活動への参画を促進するため道民カレッジ生が実践した地域活動に関する発表や交流などを行う講座です。
・実践発表で地域活動必修５単位・出席で地域活動必修２単位

2 地域活動インターネット講座（新規事業）
・地域で活躍する際に必要な知識や技能に関する内容をインターネットで配信します。
・レポート提出で地域活動必修１単位

3「ほっかいどう学」大学インターネット講座
・道内の大学講師による「ほっかいどう学」講座をインターネットで配信します。
DVDも制作していますので、DVDの視聴による学習も可能です。
平成29年度の参加予定大学は、札幌学院大学・北翔大学・北星学園大学・北海学園大学・北海道教育大学・北海道情報大学です。
・レポート提出でほっかどう学必修１単位

4「ほっかいどう学」地方創生塾（名称変更）
・地域の様々な機関や住民等と連携し、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成するための参画型の講座です。平成29年度は美幌町と羅臼町で実施の予定です。
・８割出席でほっかいどう学必修４単位

〇講座コース　（３学科７コース）

＊「ほっかいどう学科」
ほっかいどう学コース、地域活動コース（新規コース）

＊「教養学科」
キャリアアップコース（能力開発コースから名称変更）、環境・生活コース、健康・スポーツコース、教養コース

＊「ジュニア学科」
ジュニアコース

〇称号について

＊単位内訳が変更になりました。平成29年度は現行の単位内訳でも申請できます。

道民カレッジ学士（〇〇コース） ＊〇〇には専門コースとして選んだコース名が入ります			
必修単位		専門コース単位	選択コース単位
ほっかいどう学	地域活動	ジュニアコースを除く６コースの中から	必修も含む取得単位すべてから
８単位 ＊地域活動から２単位以上		60 単位	32 単位
合計　100 単位			

＊道民カレッジ修士の称号を申請するには、さらに必修８単位、同一コースの専門60単位、選択32単位が必要です。
＊道民カレッジの博士称号を申請するには、さらに必修８単位、同一コースの専門60単位、選択32単位が必要です。
＊道民カレッジ博士を取得後、コースに限らず、総取得単位が数が1000単位ごとに「学長奨励賞」を授与します。

平成28年度称号取得者セミナーを開催しました

1. 目的　道民カレッジ称号取得者が、これまで学んできた活動の相互交流や他の実践事例、成果活用の学習をとおして、生涯学習リーダーとしてのスキルアップ及び学習意欲の向上を目指す。

2. 参加者　道民カレッジ称号取得者（延べ32名）

3. 会場　かでる２・７　10階
道庁赤レンガ　北海道大学附属植物園　札幌時計台

4. 日程・内容

【１日目】　平成28年10月27日（木）10：00～15：00
①基調講演
「観光ボランティアとおもてなしの心～学びを生かす活動の現状～」
札幌市商工会議所　国際・観光部次長　萩野　祥一　氏
②演習（施設訪問）
北大植物園　　ガイド　牧　　正昭　氏
道庁赤レンガ　　ガイド　星川　　均　氏
札幌時計台　　ガイド　多田　恭子　氏

【２日目】　平成28年10月28日（金）
①演習「ボランティアとしてのまちづくり～いますぐ始められることを探そう～」
北海道生涯学習推進センター主査　川森　功偉　氏
②意見交流

【講演概要】

札幌市商工会議所の国際・観光部次長萩野祥一氏から「札幌商工会議所観光ボランティアガイドの会」を中心に「札幌市観光ボランティア」「札幌国際プラザ外国語ボランティア」との連携した活動について紹介され、学んだ成果の活用について学びました。

【施設訪問】

北大植物園、道庁赤レンガ、札幌時計台を訪問し、観光ボランティアとして活動している方々から案内を受けました。豊富な知識や様々な経験談など貴重な時間を過ごすことができ、学習意欲の向上につながる内容となりました。

連携講座の概要と活動紹介

【ジュニアコース】
白糠町「ふるさと未来塾」

「ふるさと未来塾」は、子どもたちの郷土愛を育むことを目的に、地域の自然や文化・産業の体験学習など、年間５回の講座を実施しています。今年度は小学４～６年生の塾生18名と中学生アシスタントリーダー２名が参加し、地元の牛乳を使ったチーズづくりや自然散策のほか、高校生が企画したスペシャルプログラムに挑戦し、楽しくふるさとを学び、理解を深めました。来年度は更なる内容の充実を図っていきます。

チーズづくり

【ほっかいどう学コース】
函館市文学館連続講座「函館・文学の散歩道」全3回について

函館・文学の散歩道

連続講座は、函館と文学に関わる講演の連続実施で、市民の学ぶ機会の充実と文学館利用者の促進を図っている。

常任講師である日本近代文学会会員の櫻井健治氏による講座は、約40名の参加者を得て、毎回好評であった。今後、参加者の裾野を広げられるよう道民カレッジ事務局とも連携を密し、広報活動の充実に努めていきたい。

ほっかいどう学地域活動推進講座

1 浦河町活動の様子

「浦河若者地域活動プロジェクト浦若塾　`ウラワカジュク'」「若者の力で地域を盛り上げよう」をテーマに、町内の青年層のつながりを重視し、地域課題の解決に向けて企画・立案力や行動力を身につけることを目的として講座を開催しました。

10月には講座で学んだ成果を活かし、町内の文化会館を会場として「お笑いライブ」に運営者として参加しました。

2 中札内村活動の様子

「ポロシリ大学（高齢者大学）」の学生を対象に、地域の様々な機関や団体などと協働するためのコミュニケーションスキルの向上を図る内容を実践しました。

講師には地元のレクリエーション協会指導員や北海道大学名誉教授に依頼しました。その後、近隣の高齢者大学との交流会や地元小学校の児童、町内子ども会との交流を行い、コミュニケーションスキルを一層向上させました。

道民カレッジ連携講座の状況について

平成28年度連携講座申込状況（平成29年２月末現在）

◇コース別参加団体・講座数

※団体数は延数とする

区分 / コース別	市町村		高等教育機関等		専修学校及び各種学校		各種団体		関係機関		青少年教育施設		合計	
	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数
ほっかいどう学	64	127	31	72	1	2	42	83	39	106	0	0	177	390
能力開発	19	46	37	215	5	14	28	60	11	11	39	103	139	449
環境生活	62	115	34	121	3	5	50	87	8	16	21	27	178	371
健康・スポーツ	58	170	39	102	4	10	48	121	5	14	9	10	163	427
教養	103	275	100	869	10	32	54	180	25	91	12	18	304	1,465
ジュニア	105	261	41	94	12	51	28	77	35	114	53	165	274	762
合計	411	994	282	1,473	35	114	250	608	123	352	134	323	1,235	3,864

平成28年度遠隔通信機を活用した学習講座・実践交流」実施！

1. 目的　遠隔通信機を活用した学習機会の提供に努めるとともに、圏域等の情報の交流を図り、更なる学習機会の広がりと学習意欲の向上を目指す。

2. 日時　平成28年11月30日（水）　13：00～15：30

3. 会場　札幌　かでる２・７創作実習室　旭川　旭川市常盤館2階
帯広　十勝プラザ　３階　函館　函館市青少年研修センター

4. 内容　（１）講演　函館湯の川温泉旅館協同組合事務局長　川崎　研司　氏
「これからの日本人の海外旅行の見通し、新幹線開業後の変化、インバウンド～」
（２）実践交流
①学習成果を活かした実践活動発表　各圏域から
②質疑応答

道南会場

十勝会場

札幌会場

遠隔通信機を活用して、函館湯の川温泉旅館共同組合事務局長　川崎　研司氏の講演を道央圏（札幌市）、道南圏（函館市）、道北圏（旭川市）、十勝圏（帯広市）同時に中継し、これからの北海道観光の課題を共有しました。その後各圏域の実践が交流され、遠隔通信機を活用した新たな試みとして学習を深めることができました。

平成29年度「ほっかいどう学」かでる講座講師（予定）お知らせ

講師	テーマ	開講日
合田　一道　氏（ノンフィクション作家）	「古文書に見る北海道開拓の光と影」	４月24日(月)
若狭　弘樹　氏（クラシックギタリスト）	「ギターの魅力～はるかなる音を求めて～」	５月29日(月)
岸本　良信　氏（苗字・家系・家紋研究家）	「どさんこの苗字と家系を読み解く」	６月12日(月)
金子　由紀　氏（北海道銀行ファイナンシャルプランナー）	「もめない相続・困らない相続」のための最新情報	６月27日(火)
本多　理紗　氏（健康運動指導士）	「楽しく健康に暮らす方法～きっかけづくりは楽しむことから～」	７月　７日(金)
山崎　孝治　氏（北海道大学名誉教授）	「長期予報はなぜ当たらないか？～地球温暖化って本当か？～」	８月18日(金)
西山　隆司　氏（西山製麺　取締役社長）	「札幌ラーメン誕生秘話と未来への飛躍」	９月27日(水)
村上さゆみ　氏（佐々木ファーム　取締役専務）	「喜びの地球を産んでいこう！！～命を見つめるありがとう農法～」	10月　３日(火)
藤原　佐智　氏（フリーアナウンサー）	「NHKと民放で17年！～アナウンサーの仕事と番組の裏話～」	11月　７日(火)
濱田　武士　氏（北海学園大学教授）	「現代の魚食と日本社会」	12月　５日(火)

＊申込は平成29年４月３日（月）より受付いたします。

最近の 道民カレッジ事務局

「賛助会員のつどい」（連携講座）開催！！

（公財）北海道生涯学習協会では、９月23日（金）に北海道立文学館において「賛助会員のつどい」を実施しました。当日は賛助会員22名の参加があり、特別展「2016年の宮澤賢治　科学と祈りのこころ」について学芸主幹からの説明、館内観覧、お楽しみ会などを行い会員相互の研修と親睦を深めました。

「ほっかいどう学」かでる講座　アンケート結果

平成28年12月12日（月）第10回かでる講座において、今年度後期アンケートにお答えいただきました。結果を集計しましたのでお知らせします。

1　参加者性別　男56%　女44%
2　参加者年代　50代2%　60代62%　70代33%　80代３%
3　カレッジ生72%　カレッジ生以外28%
4　講座を知った媒体　ガイドブック46%　郵送チラシ23%　知人・友人10%　新聞広告8%　その他13%
5　講座は　大変良かった43%、良かった52%、やや不満5%、不満0%

平成28年度生涯学習実践者奨励表彰被表彰団体（者）一覧

○めだかの学校
○石岡　六美氏（鹿部町）
○石原　照子氏（函館市）
○内田美佐子氏（帯広市）
○榎本　聰子氏（札幌市）
○傅寶　博愛氏（札幌市）
○飛谷　昭一氏（旭川市）
○豊田カヨ子氏（札幌市）
（五十音順）

附属視聴覚センターをご活用ください

附属視聴覚センターでは、学校での授業や各種研修会・講座などで活用可能な視聴覚教材を無料で貸し出ししています。また、視聴コーナー及び試写室も併せてご利用ください。

詳しくは、北海道立生涯学習推進センター附属視聴覚センターのホームページをご覧いただくか下記へお問い合わせください。

ビデオレファレンスコーナー

視聴覚室

◆問い合わせ先◆

かでる2・7　9階　附属視聴覚センター
TEL 011-231-4111（内線36-345）

視聴覚教材新着情報！！

・注意一秒怪我一生～四人の自己体験し学ぶ～
・絶対にダメ！飲酒運転「しない」「させない」「許さない」
・運転免許返上！あなたは運転をいつやめますか？
・合理的配慮の実践法～障害のある者、ない者が共に学ぶ～
・障害のある子障害のない子～違いを認めて助け合おう～
・ドナルド・ダック
・ドナルド・ダックドナルドの磁石騒動
・ドナルド・ダックドナルドの少年団長
・チップとデール
・チップとデール　リスの山小屋合戦
・戦場よさらば（武器よさらば）
・ローマの休日
・チャップリンコレクションVol.1　モダンタイムス
・チャップリンコレクションVol.2　独裁者
・ずっこけ三人組の防災教育　地震から身を守ろうの巻
・新ジャングル大帝①（誕生）
・シートン動物記　ちび犬チンク
・そして父になる
・トロッコ

新規　道民カレッジ称号取得者一覧

（平成28年９月１日～平成29年２月28日）

（敬称略　本人から承諾を得ている方を掲載しています。）

● 学長奨励賞（4000単位取得）●

山崎　繁光（室蘭市）

● 学長奨励賞（3000単位取得）●

牧田　武治（札幌市）　入谷　輝男（旭川市）

● 学長奨励賞（2000単位取得）●

中野　靖幸（札幌市）　阪　正二（札幌市）　宮本　髙市（帯広市）

坂本　春惠（音更町）

● 学長奨励賞（1000単位取得）●

山内ヒメ子（札幌市）　山崎　澄子（室蘭市）　武佐　博（江別市）

● 博　士（300単位取得）●

伊藤　環（江別市・教）
久保田和夫（旭川市・教）
中西　紀悦（札幌市・健）
矢澤　貴一（札幌市・教）
山内ヒメ子（札幌市・環）
鈴木　努（札幌市・ほ）
小山　孝（札幌市・教）
宮本　髙市（帯広市・健）
柳澤　清（札幌市・教）
伊藤　正憲（旭川市・健）
牧田　武治（札幌市・能）
稲垣　善信（江別市・教）
太田　順治（札幌市・教）
林　千恵子（札幌市・教）
中島　洋一（札幌市・環）
坂本　春惠（音更町・環）
入谷　輝男（旭川市・健）
今野　康志（札幌市・ほ）
吉田　良子（札幌市・教）
牧田　武治（札幌市・健）
笹　幾子（札幌市・ほ）
山崎　澄子（室蘭市・教）
坂本　春惠（音更町・能）
前川原利雄（旭川市・教）
宮本　髙市（帯広市・能）
武佐　博（江別市・教）

● 修　士（200単位取得）●

藪崎　孝一（札幌市・健）
牧田　武治（札幌市・能）
太田　節子（札幌市・ほ）
山内ヒメ子（札幌市・環）
中島　洋一（札幌市・環）
前川原利雄（旭川市・教）
入谷　輝男（旭川市・能）
塩見　洋（札幌市・ほ）
笹　幾子（札幌市・環）
久保田和夫（旭川市・教）
牧田　武治（札幌市・健）
山崎　澄子（室蘭市・教）
澤　修（江別市・ほ）
羽山　勝繁（札幌市・ほ）
安藤　明美（札幌市・能）
入谷　輝男（旭川市・健）
伊東　恒子（札幌市・ほ）
久保田和夫（旭川市・環）
中西　紀悦（札幌市・健）
伊藤　信治（札幌市・ほ）
田渕　静秀（札幌市・教）
横井志以子（北広島市・ほ）
須藤　勝彦（江別市・ほ）
武佐　博（江別市・教）
山内ヒメ子（札幌市・健）

● 学　士（100単位取得）●

沼田　巖（恵庭市・教）
島田　真土（札幌市・ほ）
太田　順治（札幌市・健）
松崎　優子（北広島市・環）
及川　直樹（音更町・教）
澤　修（江別市・ほ）
大塚　一美（函館市・教）
野口　鉄男（函館市・健）
羽山　勝繁（札幌市・教）
藤田　仁助（帯広市・教）
入谷　輝男（旭川市・能）
塩見　洋（札幌市・ほ）
鈴木　勝義（芽室町・能）
加藤　憲一（札幌市・教）
中野　靖幸（札幌市・能）
柿原　幸一（札幌市・能）
太田　節子（札幌市・環）
山崎　澄子（室蘭市・教）
加藤　憲一（札幌市・ほ）
田渕　静秀（札幌市・環）
野口　鉄男（函館市・ほ）
中島　洋一（札幌市・環）
前川原利雄（旭川市・教）
平川　省三（滝川市・能）
今　嗣王（札幌市・ほ）
柳澤　清（札幌市・環）
鈴木　勝義（芽室町・環）
笹　幾子（札幌市・環）
中西　紀悦（札幌市・健）
矢澤　貴一（札幌市・環）
太田　節子（札幌市・健）
宮腰　佳苗（札幌市・ほ）
山内ヒメ子（札幌市・環）
大塚　一美（函館市・ほ）
野口　鉄男（函館市・能）
吉田　良子（札幌市・ほ）
福田　寿子（美幌町・環）
安藤　明美（札幌市・環）
武佐　博（江別市・教）
沼田　巖（恵庭市・ほ）
山内ヒメ子（札幌市・健）

● ジュニア学士（ジュニアコース100単位）●

ジュニア修士　第１号　ジュニア

澤向　彩圭（浜中町）平成28年12月20日

※ 称号取得の方法や手続きに関するお問合せは、下記の道民カレッジ事務局まで、お気軽にご連絡ください。
なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。
（注）ほ：ほっかいどう学　能：能力開発　環：環境生活　健：健康・スポーツ　教：教養

称号取得者等

学士	修士	博士	学長奨励賞									
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位	6000単位	7000単位	8000単位	9000単位	10000単位
858人	604人	490人	95人	49人	15人	5人	4人	2人	1人	1人	1人	1人

カレッジだより Vol.31

平成29年3月発行
編集・発行　道民カレッジ事務局〔(公財)北海道生涯学習協会〕
〒060−0002
札幌市中央区北２条西７丁目かでる２・７ビル9階
TEL（011）204−5780　FAX（011）281−6664
URL https://manabi.pref.hokkaido.jp.college/
Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp
twitter　https://twitter.com/doumincollege

●道民カレッジ事務局から

1．道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局あてお知らせください。

2．カレッジだよりでは、道民カレッジ生のみなさんからのお便りを募集しています。「私が実践している生涯学習」や「道民カレッジでこんな体験をした！」など、どのような内容でも結構です。お気軽に事務局までお送りください。（お送りいただいた原稿は返却いたしません。ご了承ください。）
　紙面でご紹介させていただく場合がございます。